

令和5年6月30日

朝来中学校区 保護者 様

朝来市立朝来中学校
読書教育推進委員会

読書アンケート結果及び分析と今後の事業計画について

読書活動推進事業アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。

つきましては、アンケート結果をお知らせするとともにアンケートを分析し、今後の事業計画についてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 児童生徒のアンケート結果より（分析）

朝来中学校区の児童生徒は、読書が「好き（36%）」「どちらかというが好き（40%）」を合わせると76%で、読書を肯定的に捉えている児童生徒が多い。一方で、読書時間は学校以外では「全く読まない」が36%あり、学年が上がるにつれて「全く読まない」の割合が高くなっている。電子書籍を読む児童生徒は「読む（16%）」「ときどき読む（19%）」を合わせて35%程度である。

過去1ヶ月の学級文庫は約80%の児童生徒が利用しているが、図書室での本の借用率は35%にとどまっており、図書室の蔵書や運営面の課題が見えてきた。

「あさご森の図書館」で過去1年間に児童生徒が本を1冊以上借りている割合は約50%ある。

好きな本が1冊以上ある児童生徒は93%あり、人に薦めたい本が1冊以上ある児童生徒も93%ある。また、人に本を薦められたら読んでみようと思う児童生徒は71%あり、お互いに本を紹介するなどの機会を設けることで読書時間が増加することが考えられる。

2 保護者のアンケート結果より（分析）

朝来中学校区の約9割の保護者は、お子さんが読書する時間を増やして欲しいと思っている。お子さんに読んで欲しいお薦めの本をお持ちの保護者は45%である一方、お子さんから本を薦められたら読んでみようと思う保護者の方は85%にのぼっている。

「あさご森の図書館」で過去1年間に保護者が本を1冊以上借りている割合は児童生徒とほぼ同数の約50%である。このことから、家族ぐるみで「あさご森の図書館」を利用している可能性が高いと考えられる。「あさご森の図書館」の利用を高めることで児童生徒の読書時間の増加が考えられる。

3 今後の具体的な取組

(1) 中学校で行う取組

- ①各教科等で学習した学習内容を図書室の図鑑や写真集などの資料を用いて授業で紹介し、図書室の本を積極的に活用していく。
- ②図書室の本を使ったビブリオバトルの授業を行う。
- ③図書室にある俳句や短歌などの専門書を活用し、主に国語の授業で俳句づくりや短歌づくりに活用する。
- ④文化祭意見発表のテーマの一つに読書活動を取り上げ、読書の在り方について全校生が深く考える機会を設ける。
- ⑤玄関に設置しているディスプレイに教職員からお薦め本の紹介を定期的に行う。
- ⑥毎週土曜日の新聞に掲載される本のコーナーの記事を生徒玄関に掲示する。
- ⑦読書感想文作成前に、課題図書や読みたい本をタブレットで検索する。

(2) 中学校生徒会で行う取組

- ①生徒会が毎月実施している生徒間で感謝を伝える「ありがとうカード」を11月の読書月間は「送りたい(薦めたい)本カード」として生徒が作成し、生徒玄関に掲示する。

(3) 家庭と連携した取組

- ①生徒から保護者、保護者から生徒へお薦めの本を紹介する機会を設ける。
- ②読書活動推進事業の趣旨や取組内容について学校便り・HP・PTA 会報で知らせる。

(4) 中学校区内の小学校と連携した取組

- ①読書活動に関する研究授業の実施及び参観。
- ②中学生がポップを作成し、小学校に届け、ポップの掲示を行う。小学生は作成されたポップの本を読んで感想を中学生に送る。
- ③中学生による小学生低学年への読み聞かせを行う。

(5) あさご森の図書館と連携した取組

- ①あさご森の図書館に「本の木(仮名)」と題した掲示物を、小学生・中学生・保護者・地域住民等が協同で作成し、利用者の交流を図る。
- ②あさご森の図書館の職員に学校の図書室の運営方法や施設、蔵書等について意見を仰ぎ、図書室の改善を図る。